

令和３年度木更津市社会教育委員会議第３回定例会 報告書

１ 会議名 令和３年度木更津市社会教育委員会議第３回定例会

２ 開催日時 令和３年１２月１４日（火）午前１０時～１１時４５分

３ 開催場所 木更津市役所 朝日庁舎会議室Ａ１・Ａ２

４ 出席者名

委員：遠藤秀夫、古川哲也、森廣賢一、安藤順子、鶴岡久美子、千代倉順、
伊藤素子、地曳昭裕、内田慎一郎、石村比呂美（１０名）

事務局：廣部昌弘教育長、秋元 淳教育部長、平野義視教育部次長、
鈴木和代生涯学習課長、鈴木玲子課長補佐、安川朱里事務員（６名）

協議事項（３）説明のため出席

小高幸男文化課長、森田益央図書館長、稲葉昭智郷土博物館金のすず副館長、
水越 学中央公民館長

５．協議事項

（１）第５６回千葉県社会教育振興大会について

（２）今後の社会教育委員会議での協議内容について

（３）その他

６ 会議の公開・非公開の別及び傍聴人の数 公開・傍聴人０名

７ 資 料

令和３年度社会教育委員会議第３回定例会次第

第５６回千葉県社会教育振興大会・令和３年度第５２回関東甲信越静社会教育研究大会東京大会
資料

社会教育委員会議での協議内容について

社会教育委員の手引き（基礎編）（実践編）

第２期木更津市教育振興基本計画・令和３年度生涯学習の基本目標・政策・重点施策

第１８回木更津こどもまつり写真集

8 会議の内容

事務局 ただいまより令和3年度木更津市社会教育委員会第3回定例会を開催いたします。本日は、委員18名中10名の出席であり、欠席は8名であります。従いまして、社会教育委員会運営規則第3条第2項の規定により、委員の2分の1以上の出席がございますので、会議は成立しております。なお、本会議は、木更津市審議会等の会議の公開に関する条例により公開されておりますが本日の傍聴人はおりません。以上報告いたします。

最初に内田議長からご挨拶いただきます。

内田議長 皆さんおはようございます。師走の本当にご多用の中お集まりいただきましてありがとうございます。

私が属している税理士会で租税教育を担当しており、千葉大の学生に「子どもたちに向けた租税の大切さ」という講座を行っておりますが、大学に行くと学生がにぎやかに活動しているのを目の当たりにします。本日、資料に「社会教育委員の手引き」が入っていますが、我々も学生さんたちに負けないようにいろいろ学ばなければいけないと考えておりますし、更には学んだことを地域に還元することが一つの役目だと思っております。また社会教育委員の一番の仕事は「地域の実情に詳しくなりましょう」ということです。やはり、我々が住んでいる地域のことをよく理解した上で、この地域にとって何が良いのか、我々は何をすべきかということを議論する場だと考えておりますので、本日の第3回の定例会も、皆さん方の活発なご意見を賜りまして、実り多い定例会にしたいと考えております。限られた時間ではございますが、どうぞ皆様方、よろしくお願い申し上げます。以上をもちまして、冒頭の挨拶とさせていただきます。本日もどうぞよろしくお願い致します。

事務局 ありがとうございます。続きまして、廣部教育長よりご挨拶申し上げます。

廣部教育長 皆さん改めまして、おはようございます。本日は、師走の大変ご多用の中、令和3年度社会教育委員会第3回定例会にご出席賜りまして誠にありがとうございます。早いもので、今年も残り半月ということになりました。

先日、令和3年度の木更津市十大ニュースが発表になりまして、教育委員会関係では、電子図書サービスのスタートや、清見台小学校がI'm POSSIBLEアワード開催国最優秀賞を受賞、それから、将棋イベントが木更津市にて開催されるという3点でした。木更津市としては歴史に残るイベントになったと思います。

さて、最近は新型コロナウイルス感染症が落ち着いてきていますが、まだまだ予断を許さない状況であります。教育委員会では感染対策を十分に行いながら事業を進めているところでございます。秋には、生涯学習フェスティバルの記念講演会での谷畑美帆先生のご講演、少年少女の主張大会や、里山アドベンチャーや木更津わくわく散歩、音楽鑑賞教室、木更津市史編さん事業公開講座「木更津いまむかし」など、多くの市民の皆様方に足を運んでいただける事業を実施いたしました。また、新しい生活様式を踏まえまして、12月4日には、2回目になります、Zoomで「ツナガルフェス2021」を20歳代の実行委員を中心に実施し、大変活気のある事業となりました。市や教育委員会としては、高校生・大学生を中心とした若者のネットワークをいかに広めていくかということの一つのテーマとして活動しているところでございます。ツナガルフェスについては、市長も長時間、ご自宅からラフなスタイルで参加してくださいました。今後も感染状況を見極めながら、社会教育の推進に向けて事業に取り組ん

でまいりますので、社会教育委員の皆様にも足を運んでいただき、ご意見等をお聞かせいただけたらと思います。どうぞよろしくお願いいたします。

さて、本日は、前回の定例会に引き続き、今後の社会教育委員会議での協議内容についてご協議いただきたいと考えております。忌憚のないご意見をいただければ幸いです。それでは、本日もよろしくお願いいたします。

事務局 ありがとうございます。協議に入る前に資料の確認をお願いいたします。

確認

では、今後の進行につきまして、木更津市社会教育委員会議運営規則第2条第4項により議長をお願いいたします。それでは内田議長よろしくをお願いいたします。

内田議長 それでは、協議事項(1)「第56回千葉県社会教育振興大会について」でございます。私と事務方で参加しました。日程は12月2日の木曜日、千葉県総合教育センターで行われまして、基調講演は、立川市大山自治会前会長佐藤良子さんによる「住民に必要とされる自治会づくり」の活動についての発表でした。古くからあるマンモス団地の自治会についての講演であり、詳しくは資料を見ていただければと思います。

次に協議事項(2)「今後の社会教育委員会議での協議内容について」でございます。前回(10月)の定例会時に、委員の皆様から関心のある事柄を出していただきました。本日の資料には、それを箇条書きにまとめたものを入れさせていただいております。また「社会教育委員には、どんな役割が求められているのか」という意見がありましたので、事務局より説明をお願いいたします。

事務局説明

内田議長 社会教育委員に初めてなられた方もおりますし、長年の経験がある方もおられます。前回の定例会時に配布された「社教情報」や、今回の事務局からの説明を聞き、社会教育委員の役割が少しずつでも見えてきたところではないかと思っておりますので、「今後の協議テーマについて」、前回に引き続き、委員のみなさまよりご意見をいただきたいと思います。こちらから指名させていただきます。森廣委員お願いします。

森廣委員 前回、地域の高齢者団体と子どもたちと、何か一緒に活動ができるようなものができればいいなという話をしました。社会教育委員の手引き基礎編の中でも記載してありましたが、木更津市では、地域ごとの活動はそれぞれ実施しているかもしれませんが、地域をつなぐ活動はあまりないと感じています。かけ橋になれるような活動をしていければいいなと思います。

内田議長 ありがとうございます。伊藤委員お願いします。

伊藤委員 私も同じような意見かもしれませんが、繋がりを持ちたいと考えておりまして、実際何ができるのかなと考えています。例えば、社会教育委員の手引き実践編に記載してあります「カフェのような雰囲気です話している」とありますので、そういう集まりができたらいいなとは思いますが、カフェなどを開催したときに、どうしたら、来て欲しい人が来てくれるのかという部分は、課題として残ります。どんなアイディアとか必要なのか、と考えたりしています。

内田議長 ありがとうございます。遠藤委員お願いします。

遠藤委員 現在、開かれた教育課程ということで、学校は地域の方といろいろ連携をとりながら、なおかつ公民館行事等にも足を運んで連携をとっています。昨年度だと、避難訓練を地域の方と一緒に開催しました。いろいろな関わりということですが、この委員会だけの関わりだと、どう活動していいのか具体的にわからない部分があります。

例えば、公民館を運営する方たちがここに同席するとまた繋がりが広がってくると思いました。

内田議長

ありがとうございます。委員のみなさまは、それぞれ所属している団体等があつて、或いは地域があつて、その上でいろいろな意見を発言することが大事であつて、社会教育委員が施策や事業を行うということは本来の役割ではないことを改めて学びました。我々は事業を実施する立場との仲介役だと認識していますので、課題に向けてどう活動していくことが重要なのか、それに関する今後のテーマ決めに、前回の定例会から皆さんにご意見を出していただいています。それを事務局でまとめた資料が本日配布されていますので、それを見ながらの発言で結構です。新たな発言等も受け付けます。

例えば、世代間交流とか、地域コミュニティというようなくくり、子育て支援、シニア世代の活動支援、生きがい探し、青少年の育成、団体育成活動支援、社会教育委員としての役割等、協議内容としては市教育委員会の方向性との合致も重要になってくる部分ももちろんあります。また、学校教育や社会教育は言葉で表現しづらい部分もあるので、現場に行つて見学し協議をすることも重要だと思いますし、任意で小委員会を作つてテーマを検討していく方法もあるでしょう。

テーマをある程度次回（３月）の会議までに絞らせていただき、今後１年間で、小委員会を作つたり、分科会みたいな形で、この地域の社会教育の発展のために、１年間皆さんと議論を重ねていければと考えております。今日は討議というふうに位置付けておりますので、ご理解していただきましてご発言いただければと思います。

生涯学習課長

冒頭、事務局から説明をさせていただいた内容は、あくまでも皆様に社会教育という分野がどういうところを網羅しているかという話をしたので、何を発言していいのかわからなくなつてしまった方もいらっしゃると思います。

冒頭の説明では、「社会教育委員とは」ということを、法律を用いながら説明をしていますが、あまりそこにとらわれず、議長からも発言があつたように、前回話に出てきた内容に基づいて協議していただければと思います。資料として、最近１０年間の協議内容をお配りしています。これまで木更津市が抱えている社会教育に関するいろいろな課題をその都度話し合つてきたという経緯がございます。ですので、今この場では、次回から皆様にいろいろ協議をしていただくために、日頃思っている課題、また木更津市の社会教育に関しての課題を素朴に出していただければと思います。公民館で行われていること、図書館のこと、博物館のこと、また青少年に関すること等、前回、地域コミュニティの話も出ましたが、町内会で行われてること、今町内会で子ども会がなかなか難しいとか、シニアクラブの人数が少なくなつてきた等、地域の中で住民の人たちが困つてることや改善すべきところを皆さんと意見を出し合つていければと考えています。

内田議長

ありがとうございます。千代倉委員お願いします

千代倉委員

協議内容の資料を見た中で、社会教育というのは、学校教育が修了する２０歳前後からお年寄りになる６０歳ぐらいまでの、この４０年間でターゲットとしているので、案外、一般的に話題になりづらいし、課題も考えづらいのではないかと思います。木更津市が人口１３万だとすると、おそらくこの４０年間にあてはまる世代は、人口の半分以上を占めておりますので、その世代をターゲットとする政策が何かあつてもいいのではないかと思います。

内田議長 ありがとうございます。ターゲットの絞り込みということですね。古川委員お願いします。

古川委員 私も皆様方のご意見を拝聴して、何をどう議論していったらいいのかなということまで戸惑いがあります。ただ、前回の協議内容を、事務局でまとめたくださった項目、これはすべてとても大事なことだと思いますが、その中でも子育て支援であるとか、青少年育成というような方については、木更津市の行政と関わってきます。この課題の中から社会教育委員会議として優先順位を決めて、定例会で議論していくのが良いと思います。或いは、前回ここで出てきた、5項目の世代間交流、地域コミュニティから団体育成活動支援まで、分科会を設けて議論していくとより建設的な意見が出るのではないかと考えます。

内田議長 ありがとうございます。あまり、狭く絞り込むよりは、分科会等を開いた中で広く議論した方がいいのではというご意見ですね、地曳委員、もし何かあればお願いします。

地曳委員 今後の社会教育委員会議はテーマを絞って議論していくと話がありますが、そのテーマは大きいテーマなのか、細かく絞りこんだテーマなのか気になりました。

内田議長 その辺も皆さま方からご意見をいただいた中で決めていくのはどうでしょうか。まず広いテーマにするか、或いは細かく絞り込んだテーマにするか。皆さん方からご意見をお伺いいたします。ちなみに、地曳委員はどちらですか。

地曳委員 僕は、ピンポイントに細かく絞ったテーマを決めて、皆さんと深く議論したいと考えています。

内田議長 ありがとうございます。石村委員お願いします。

石村委員 私も地曳委員に賛成ですが、少し話が反れますが、それぞれの委員の方が、それぞれの立場でいろいろな素晴らしいことをやっています。そこで私は何ができるかと振り返るときに、自分の仕事の特性を生かして、例えば、少年少女の主張大会の作文をラジオで発表したり、来月は子どもサミットというのをやるのですが、それは何かと言いますと、小学5年生の夏休みの宿題を活用し、ジェイコムとかずさFM、すべていろんな木更津市に対するエコの提言を市長に渡し、大人と子どもが一つのテーマに向かって、どんなふうにかえるかというようなことを展開していくものです。私は、私なりにできることが幾つかあるので、そういったものを何か皆さんにお伝えして、そしてテーマを決めたり手法を決めたりしていくといいのかなあというふうに考えています。皆さんのいろいろな活動の詳細まですべてわかってるわけではないので、また公民館がすごいことやっているんだと公民館に足を運ぶたびに改めて発見することもあるので、私自身ももうちょっと見聞を広げて、社会教育委員の皆さんの活動を知ること必要だと思いました。それから、多くの皆さんにこういうことをやってるんだという情報発信が必要だと思います。どうしても内輪で盛り上がってしまいがちで、外への発信というのが少ないと思うので。テーマを絞るということは賛成ですが、でも、プラスアルファ、外に発信していくということも一緒にやっていけたらいいなと思います。そうすると、賛同してくれたり、意見が来たり、これは一緒にしようよ、ということで、広がりが出ていくと思うので、そういう活動もあわせて開催できる良いと考えました。

内田議長 今まではランダムに意見を聞いたところですが、ここで、広い意味でのテーマとするか、または絞り込んだテーマにするかということを決めてから、その先の話し合いにつなげたいと思います。

鶴岡(久)委員 私はピンポイントで進めていった方がいいと思います。事前にいただいた資料を読みました、正直、少しわからなくなっていました。まちづくりとか青少年育成は、それぞれの団体の方がここにいらっしゃる、その人たちが活動することの効果を検証し、環境整備をすることはできると思います。またこの十年間の図書館や公民館の現状把握をすることも非常に必要な事項です。さらに、現在木更津市は、市民会館というものが無いのでその必要性を訴える活動ができれば良いと思っております。

内田議長 ありがとうございます。安藤副議長お願いします。

安藤副議長 方向性として、皆さんでピンポイントに絞って話し合うということでしたが、小委員会を作りたいとかありますか。私は、それぞれみんないろいろな立場でいろいろな活動をしている中から来ているので、その団体を生かせなきゃ何の意味もないと思います。それぞれが、ここで結集するということについては、多分みんな意思は合致していて、でも一方で、それぞれが違うバックボーンで来てるから、そこを合わせるといことは意外に難しいことであり。でも力を合わせなきゃいけないから、ここの部分を話し合いたい、と私は考えます。みんなの力を合わせて、これができるということを探り出し、取り組んでみたい、と考えています。多分地曳委員も同意見かと思うのですが。

内田議長 ありがとうございます。千代倉委員お願いします。

千代倉委員 私は逆に、広く浅くの方がいいと考えます。ピンポイントで、というような言葉がありました、10人委員がいたらそのピンポイントのレベルは10人それぞれだと思うので、それぞれ皆さんが得意とされている分野等を話し合う。逆に言うとあまりピンポイントにしちゃうと全くカバーできない部分も生じる、というようにリスクもあるのかと考えました。

内田議長 ピンポイントというご意見、或いは広くというご意見等もございました。最終的には方向性を決めないといけませんので、採決という形になろうかと思いますが、ただその前に、ぜひご意見等これだけ言っておきたいという方がいらっしゃったらお話しいただければと思います。地曳委員お願いします。

地曳委員 私が思うピンポイントというのは例えば子育てについてというテーマで話すというのかピンポイントであって、そこから細かいテーマを決めていくというわけではないということをお伝えします。

内田議長 ありがとうございます。生涯学習課長お願いします。

生涯学習課長 先ほど安藤委員から話がありましたが、皆さん、所属団体があり、または学識経験者という枠で委員になっていらっしゃいますが、社会教育委員は一人ひとり個人で社会教育委員なので、必ずしも団体等を背負って意見を言わなければいけないわけではございません。所属団体に基づいた意見で議論を進めようとする、そこに関係ないことはテーマとして話し合えませんかということになる可能性もあります。本日議論していることは、社会教育委員会会議の中で、ある程度テーマを絞って、共通の話題で議論を深めていくという、前回、地曳委員がご提案したところから始まっていると思いますが、例えば、「子育て支援」について、社会教育委員会会議で一年間これを一つのテーマとして決めた時に、子育て支援に関わることを少し調査してみようとか、そこに関わる課の方に来ていただいて、みんなで理解を深めるとか、そういうイメージではないかなと思います。まずは、一つのテーマとして、子育て支援や、シニア世代がどういうふうに関わるのか、青少年育成をどうしていくか等まず分野を決めて、

次にその先の中身のすることについて協議を始めるのがいいと思います。先ほどスケジュールのことで話がありましたが、1年の中でできる範囲として、皆さんがそのテーマに関して研究・調査をし、会議の時に持ち寄って、こういう意見が出ました、こういう活動をするといいと思います等の内容を、1年の最後に、社会教育委員会議会で出た提案として、世の中に発信していければと考えます。社会教育委員会議ではこういう話し合いをしたので、ぜひ皆さん参考にしてくださいというような形で、社会教育委員会議としての意見を発信していくというのが最終的な目的だと事務局では考えているところでございます。

内田議長 ありがとうございます。生涯学習課長より方向性について話がありました。ここでテーマをピンポイントがいいのか、広いテーマがいいのか、多数決で決めたいと思います。

多数決

多数決の結果、テーマはピンポイントである程度絞っていくということになりました。その中で、生涯学習課長から話があったことも含めた上で、さらなる議論をしたいと考えております。地曳委員お願いします。

地曳委員 来年度は会議の回数を増やすことはできますか。

生涯学習課長 事務局としては、皆様方に報酬をお渡ししているので、定例会4回というのは変わりません。ですので、この他に皆様を議長が参集していただく場合には、報酬が出ない形での任意の会議ということになりますが、そこは皆様の同意があれば可能だということになります。

内田議長 ありがとうございます。千代倉委員お願いします。

千代倉委員 先ほど生涯学習課長から、定例会4回だということですが、臨時に会議を開くという規定はないのでしょうか。

生涯学習課長 臨時の会議を開くことは可能です。例えば以前使用料のことについて協議を進めていたときに、もう1回やらないとどうしても議決が取れないということがあり、その議題のみの臨時会を開きました。しかし、もう少し意見の交換をしたい等の場合の臨時会は少し難しいと思います。

千代倉委員 つまり、教育委員会の諮問のような内容だったら臨時会は開けるということですね。

内田議長 本日、テーマまで決めるわけではございません。ピンポイントでテーマを決めるということは決まりましたが、内容について皆さんと協議したいと思っています。ご意見がありましたらお願いします。生涯学習課長お願いします。

生涯学習課長 本日委員の数が少ないこともありますし、また前回の地曳委員から提案や子育て支援等のご提案もありますので、これらのことも含めて、今日ご欠席の委員の皆様へ本日の協議結果を伝え、欠席の委員からも課題を出していただき、その上で最終的なテーマの設定について、議長・副議長にお任せいただくというような形を皆様にご承認をいただくか、または次の定例会に、本日の意見及び欠席者からの課題を集約したものを提示し、その中から選ぶということにするか、皆様に選択していただきたく思いますが、いかがでしょうか。

内田議長 ありがとうございます。生涯学習課長から提案がございました。最終的な選考については、正副議長の中で決めていいものか、或いは次回の3月に行われます定例会で最終的に決めるのがいいのか、皆さん方からご意見いただきたいと考えております。こちらとしてはできれば、3月の定例会で決めさせていただいてくということに進め

たいとは思っております。ただそのときに、意見をまとめたものを次回の会議までに用意するということでよろしいでしょうか。

では、この協議はここで終了させていただきます。先ほど配られた、第18回木更津こどもまつり写真集について、伊藤委員、ご発言いただければと思います。

伊藤委員

木更津こどもまつりの写真集を配布させていただきました。こちらのお祭りの紹介をさせていただきます。このまつりは西口の駅周辺で、1年に1回、11月の第3土曜日に開催しております。第18回となり、18年目を迎えました。年々人が増えて、約1万人の方が、日頃閑散としている西口に集まります。とつてもにぎやかになるお祭りになりました。コロナ禍での開催も2年目になりまして、去年は石村委員にもご協力いただいてラジオ放送に挑戦しましたが、やはり子どもには実際に楽しんでほしいと、感染対策をした中で今年はわいわいと開催しました。当日は、8,000人近くが集まりました。今回活躍の一つに「中学生ボランティア」というのが新しくありまして、今までそのこどもまつりで遊んできた子たちが、今度はそのスタッフ側として協力をしてくれました。日頃おとなしい子がとても親切にボランティアをしており、その様子から青少年育成の一環になっているなど感じる事ができました。そしてこの子たちがまた新しい人たちを連れてきて、次のまつりにつながるのでは、という希望をもつことができ、ふるさと木更津の現風景を守る事業となってきたのかと自負しております。回を重ねるごとに町の成長も感じられ、充実した気持ちで今年の祭りを終えることができました。

内田議長

ありがとうございます。続いて（4）その他ですが何かありますか。

事務局説明

内田議長

他にないようでしたら、これで協議を終了いたします。

事務局

それでは令和3年度社会教育委員会第3回定例会を終了いたします。